



秋厚労ニュース

NO1952号

2021年2月3日

秋田県厚生連労働組合

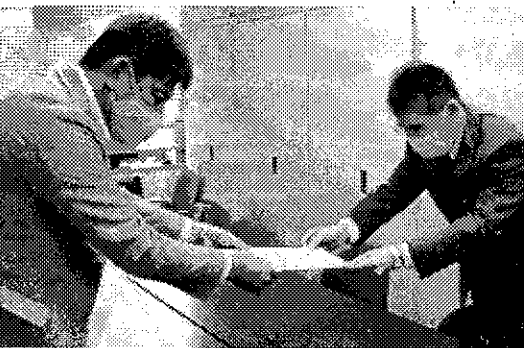
秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

県と国会議員へ要請

1月25日（月）～29日（金）、秋厚労は、県医務薬事課と県選出国会議員へ「公立病院と同等の地方交付税措置・基本診療料等の増額・公費による医療従事者への定期的なPCR検査の実施」を国に求めるよう、要請しました。



県医務薬事課へ要請書を提出

2020年秋の団体交渉で経営者は「自治体も財政が厳しく、補助金を出しにくくなっている」と話しました。
このところ診療報酬は引き下げられ、全国的に医療機関の経営は困難です。新型コロナウイルス感染を心配しての受診控えや、感染予防対策により、医業収支はさらに悪化。
日本医労連の全国調査では、2020年夏季一時金が、3割超の施設で昨年の支給を下回りました。最前線で頑張る医療従事者の待遇が引き下げられては、モチベーションも保てず、大量退職につながりかねません。

地方交付税措置・診療報酬増額・定期PCR検査

秋厚労は、1月9日（土）の拡大中央委員会にて「国の命と健康、くらしを守るために秋田県と県選出の国会議員へ要請を行いました。」と確認しました。

議員事務所

「厚生連は地域に重要な役割」

1月25日（月）～29日（金）、国会議員への要請行動を実施（下表）。組合員から「日程が合わないが、参加したかった」との声も寄せられました。
「医療をなくしてはいけない」「厚生連病院は拠点病院で、地域に重要な役割を果たしている」と熱心に話を聞き、「必ず議員に届けます」と応じました。

国会会期中での議員も不在のため、秘書や事務局が対応。秋厚労が現状を伝

県「診療報酬は知事会通じて要望」

29日（金）に県医務薬事課へ要請。石川修課長が「いただいた内容は県の総意として国に伝える。国の三次補正予算を受け、新型コロナウイルス患者受入病院へ応援金を支給予定。診療報酬引き上げなどは知事会を通じて要望している」と話しました。応援金の内容について聞きましたが、具体的な提示はありませんでした。

TVや新聞で報道

県要請の際、NHK、AAB、秋田魁新報社が取材にきました。中村中央執行委員長がインタビューを受け、テレビや新聞で報道されました。

《要請内容》

- (1) 公立病院と同等の地方交付税措置
 - ・ 公的病院を支えるため、普通交付税の病床割等、自治体が公立病院と同等の支援を行えるようにしてください。
- (2) 基本診療料等の増額
 - ・ 新型コロナウイルス感染症拡大にともない、全国的に受診控え、感染予防対策等により医業収支が急速に悪化していることから、基本診療料等の底上げをしてください。
- (3) 公費による医療従事者への定期的なPCR検査の実施
 - ・ 院内でのクラスター発生を防ぐために、公費による医療従事者への定期的なPCR検査を実施してください。

《要請日程》

- 1月25日（月）
 - ☆ 石井浩郎参議院議員事務所
 - ☆ 緑川たかし衆議院議員事務所
- 1月26日（火）
 - ☆ 寺田学衆議院議員事務所
 - ☆ 寺田静参議院議員事務所
 - ☆ 御法川信英衆議院議員事務所
- 1月29日（金）
 - ☆ 秋田県医務薬事課
 - ☆ 金田勝年衆議院議員事務所
 - ☆ とがし博之衆議院議員事務所